

二科展 デザイン部

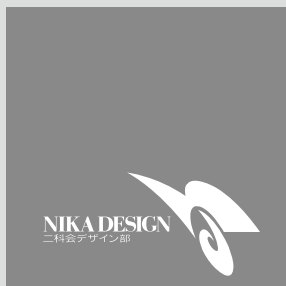
作品制作・出品の前に

二科会デザイン部の公募展は全国規模のもので、

毎年多くの出品作品があります。

配送・展示・保管・保護など作品を傷めないために、

出品するにあたっては、いろいろなルールがあります。



A・B・C・D部門とも木製パネルで出品してください。

■木製パネル(作品サイズ)

A部門(自由テーマ)……………	B1(728×1,030mm)
B部門(イラストレーション)……	B2(515×728mm)
C部門(特別テーマ)……………	B1(728×1,030mm)
D部門(マルチグラフィック)……	B2(515×728mm)

木製パネルとは、木枠にベニヤ板を張ったものです。そのパネルの上に描きやすい画材で表現します。

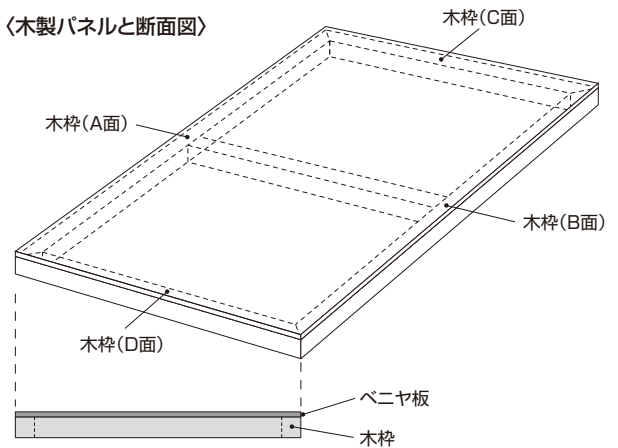
一般的には厚口のケント紙をシワにならないように水張りするか又は、イラストボードなどを張ってその上に描きます。

自分で表現したい彩色のため、油彩やアクリルキャンパスの活用などの作品もあります。又、和紙など特殊紙活用の場合でも薄いものはあらかじめケント紙を水張りした上に張り付けるなどして、シワにならないよう工夫してください。

近年はコンピューターのカラー出力作品が増えてきました。その場合もカラープリントを発砲スチロールパネルに張ったものを木製パネルに張ってください。

木製パネルの入手は画材店などで取り扱っています。

〈木製パネルと断面図〉



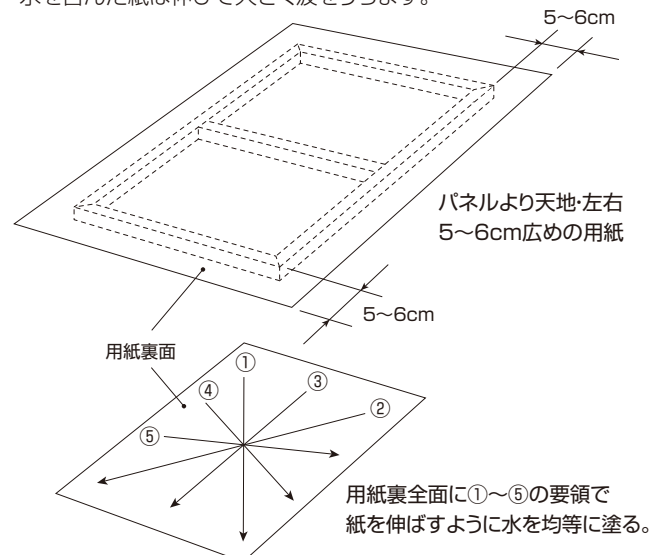
■紙の水張り

紙の伸縮作用で木製パネルにシワなく張ることで、

1. 用紙に水を塗る

制作作品のパネルサイズに対し、天地・左右とも約5~6センチ広めの紙に平筆(又はスポンジやタオル)に水を含ませ図のように紙の裏全面に均等に塗ってください。

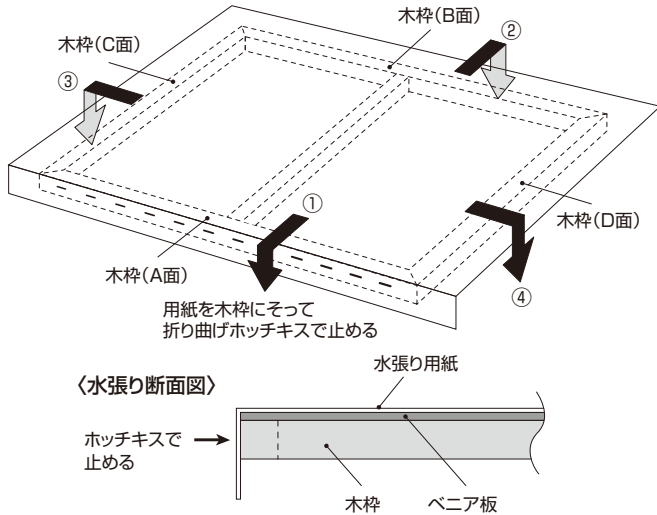
水を含んだ紙は伸びて大きく波をうちます。



A・B・C・D部門とも木製パネルで出品してください。

2. 用紙を木枠に止める

伸びきった紙が乾かないうちに紙をひっくり返し、A面の木枠にそって紙を折り曲げ、ホッチキスで止めていきます。中央から5~6cm間隔で左右に外側に引っ張りながら止めていき、コーナーまで止めます。次にB面の木枠に同じ要領で止め、C面と反対側のD面を止めます。この時、乾いたタオルなどで用紙を手前に引き伸ばすようにしながら止めるとシワになりにくく張れます。

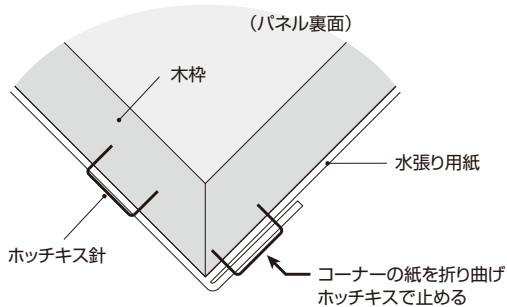


注意ポイントは、A面とC面、A面とD面、B面とC面、B面とD面の角にシワがいかないよう十分気をつけてください。水張りした紙は乾燥すると紙の伸縮作用でピンと張ります。四つ角に一箇所でもシワがあると、ホッチキスの針をはずして最初からやり直します。

3. コーナーを止める

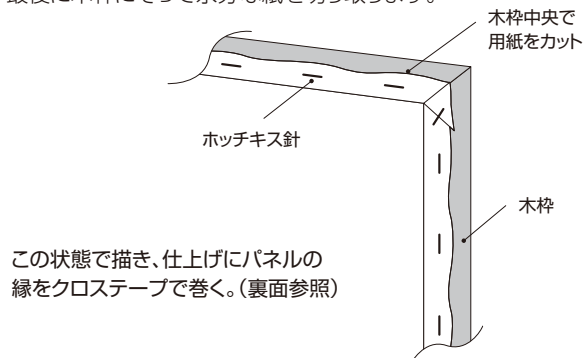
紙が乾いてシワなくピンと張るとA面とC面のコーナー、A面とD面のコーナーの紙をA面に折り曲げホッチキスで止めます。B面とD面、B面とC面のコーナーの紙も同じ要領でB面に止めます。

〈水張り用紙のコーナーの処理〉



4. 余分な紙を切る

最後に木枠にそって余分な紙を切り取ります。

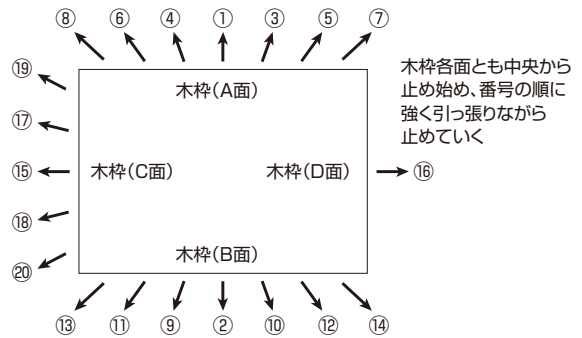


■作品保護のためのビニール張り

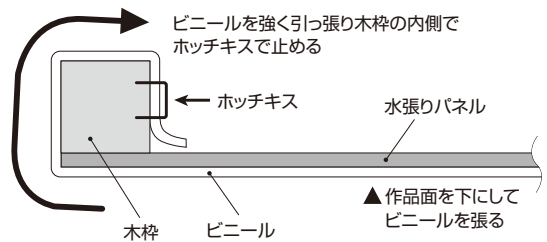
作品の搬入、審査、展示、搬出の間、作品を傷めないために、仕上がった作品の上からビニール張りをしてください。

作品パネルに対し、やや大きめの透明ビニールを用意します。下図のようにパネルの長い方の木枠(A面)中央(1)を止め、その対面木枠(B面)の中央(1)を止めた後、木枠(A面)から5~6cm間隔で左右にホッチキスで止めていきます。次にビニールを強く引っ張りながら同様に木枠(B面)を止めていきます。AとBが終わると同じ要領で、C~Dを止め、表面にシワがないか確かめてください。シワの箇所が見つかったら、A・Bに対するシワか、C・Dに対するシワかを確認し、シワに対する箇所のホッチキスの針をはずし、シワが伸びるまで丁寧に繰り返します。シワなく張り終わると、コーナーのビニールは水張りの時と同じ要領で止めます。

●ビニール張りの手順



〈ビニール張り断面図〉



■キャンバス布使用や、コンピューターカラー出力の場合

油彩で描いた場合、油彩効果が損なうと判断されると、あえてビニールを張る必要はありませんが、作品保護についてはご自分で判断してください。

カラー出力作品については、ビニールをかけると出力表面とビニールがマンダラにくっつくので、作品を出力すると同時に表面をUVラミネート加工すればビニール張りは不用です。ビニール張りの場合、シワがあるとせっかくの力作も審査に影響する場合がありますので十分気をつけてください。

〈カラー出力を木製パネルに張る〉

UVラミネート加工した出力紙を発泡スチロールパネルに張り、それを木製パネルに、野外用両面テープでしっかり張り付ける。

